

テーマ：『 自ら学ぶ意欲を高め、科学的な見方、考え方を育成する授業の創造 』

相模原市立 向陽小学校

Tel. 042-752-1309 担当者： 森 一郎



■**実践内容**: 向陽小学校では、生活単元、生活科、理科の問題解決的な学習を通して、「自ら学ぶ意欲を高め、科学的な見方・考え方を育成する授業の創造」をテーマに研究を進めている。支援級の生活単元では、日常の散歩や遊びを授業に生かすと共に季節の変化に気づかせるような個に応じた支援を行っている。理科では、「科学的見方・考え方を」、生活科では、「気づきの質を高める」ことをめざし、また、「気づきの質を高める」ことが理科での「科学的見方・考え方」につながっていくと考え授業作りをしている。

■**実践成果**: 支援級、生活単元では、いろいろな遊びを取り入れている。遊びに興味を示す児童もいればそうでない児童もいる。体力差もあり、個々の生活経験等の実態の把握は、次への興味関心を持たせることにつながる。生活科では、「楽しい」活動をしたときには、具体的にたくさんの「気づき」を表現することができた。その表現を深めるために「どうしてそう思ったの?」「なぜ、そうしたいの?」など問いかけることによってその理由も表現するようになり、気づきの質が高まってきていること。理科では、十分な自由試行の時間が、児童にとって重要である。教師は、その内面にある思いや考えを探り、どのような働きかけをしたらよいか考えていくことが大切であるなど研究を進められている。

■**実践ポイント**: 課題づくりでは、児童個々の捉え方の違いを明らかにし、より「詳しく調べてみたい」、「はっきりさせたい」という追究意欲を高めるようにする。児童の行為や発言、考えには、その児童なりの意味や価値、理由がある。それを表出させる問いかけや発問を大切にしたい。